

平成27年度 答辞

暖かな風が吹き始め、草花の小さな命が穏やかな春の到来を感じさせるこの良き日に、私達卒業生のために、盛大な卒業式を挙げていただき、ありがとうございます。

また、ご多忙の中、ご臨席賜りましたご来賓の皆様、校長先生を始め、諸先生方、並びに関係者の皆様方に卒業生一同、心からお礼申し上げます。

私達二十一名は、三年前の四月、期待と不安を抱えながら、入学式で出会いました。緊張の日々が過ぎていき、それぞれの強い個性がぶつかり合う事もありましたが、学校行事や日々の生活を通して少しずつお互いを知り、理解し合えるようになりました。

入学して直ぐに行われた一年次の歓迎実習。慣れない中で、先生方や先輩が丁寧に指導して下さい、楽しい学校生活に期待が持てました。

毎年恒例の久住校伝統行事、大船・黒岳への清掃登山や野焼き体験実習は、心身の鍛練とともに、友との絆を深めるよい機会となりました。

農業実習では、土に触れ、労働の苦勞と作物や家畜の成長や収穫の喜びを知りました。二年次には待ちに待った修学旅行。皆で何度も話し合って計画を立てて臨みました。雪のグレンデで転びながら上達した長野のスキー体験。都内自主研修では班毎に行き先を決め、東京の街を十分に満喫しました。

三年生になり、私達は最高学年として、また、私自身は生徒会長としてリーダーシップを発揮しなければならない事が増えました。進路決定が目前に迫ってきた九月に実施された体育大会。私達には、何としても成功させたいという強い決意がありました。団長、体育委員長とともに、限られた時間の中で、何度も協議を重ね、アイデアを出し合ったことで、当日は、両団ともに一致団結し、白熱した心に残る体育大会となりました。

その余韻も冷めぬうちにいよいよ進路決定に向けて、本格的な面接練習が始まりました。なかなか結果が出ず焦った時期もありましたが、先生方が放課後熱心に指導して下さい、無事全員の進路が決定しました。心から感謝しています。

三学期には、卒業を目前に、この一年の集大成である、課題研究発表会がありました。強い日差しの中雑草を取り、早朝誰も来ていない農場で苗が枯れないよう水やりをして調査・研究した成果を一生懸命発表しました、上手な発表とは言えませんが、これまでの苦勞を思い出し達成感でいっぱいになりました。

三年生を送る会では、まず、一・二年生の出し物で笑い、先生方の歌で泣き、思い出の写真で盛り上がりました。今年は私達三年生も特別に出し物で参加させてもらい、大きな声援を受けました。短期間の練習でしたが、仲間達と放課後残って練習するのも最後だと思うと寂しさが込み上げ、涙がこぼれました。

思い返せば生徒会長として、様々な行事に取り組むことで、私は多くの事を学びました。一人では何もできないけれど、頑張れば誰かが必ず助けてくれる。クラスメイトや一・二年生に感謝しています。

こんなに思い出多き久住校での生活も今日が最後です。凍てつく冬の教室でストーブを囲み、他愛のないおしゃべりで盛り上がった昼休み。何気ない日常をクラスメイトと過ごした一つひとつが大切な思い出となりました。

私達が今日、こうして卒業を迎える事ができたのは、掛け替えのないクラスメイトや、地元で暖かく見守って下さった地域の方々、そばで指導して下さいました先生方、そして何より、陰ながら私達を心配してくれた家族がいてくれたからです。自分勝手に反発し、対立しても、救いの手を差し伸べ、いつも味方でいてくれました。たくさんの心配や迷惑をかけてごめんなさい。口に出さずとも心の中で応援し、私達の成長を見守ってくれた、その温かさを私達はしっかり感じています。あらためてお礼申し上げます。

在校生の皆さん、頼りない先輩だったかもしれませんが、私達なりに努力してきました。皆さんの模範となれたでしょうか。

まだまだ、思い出がたくさんあり、全ては言い尽くせませんが、私達の役目はこれで終わりです。これからは二年生を中心に、皆さんが学校を牽引していく番です。私達にできなかったこともあります、バトンを渡します。これまで久住校が築き上げてきた伝統を守り、より素晴らしい未来の創造を期待しています。

最後になりましたが、今日まで私達を育ててくれた家族に感謝の意を捧げるとともに、私達の大切な母校である久住校の更なる飛躍と発展、並びに諸先生方、在校生の皆様方のご活躍を祈念し、答辞と致します。

平成28年3月2日

卒業生代表 本田 栞